

「値下げ補助」廃案

北総線運賃 白井市議会が流会

北総線の運賃値下げを巡り、28日の定例会最終日に空転した白井市議会は、29日午前0時で時間切れとなり、流会した。3度目の提出だった値下げの原資となる補助金支出の予算案は審議未了で廃案になった。

これを受け、横山久雅子市長は「議会の理解を得るのが基本で、対応を考えたい。流会をもって専決処分ができるという考えは持っていない」としたが、「白井が合意から外れたら再値上げがあると予測される中、私として何ができるか、何をすべきか考えていきたい」とも述べ、今後の可能性に含みを持たせた。

同市議会は3、6月定例会で、補助金支出に反対10、賛成9(定数21、欠員1)で、予算化を認めなかった。しかし、28日は、賛成派とされる議長が討論を申し出て、採決に加わる流れとなり、混乱状態に陥った。賛成派、反対派

が同数のなか、だれが仮議長になるか決められず、本会議を再開できなかった。

流会后、横山市長は、記者団に対し、「議長は『自分は何ができるか』と6月議会から、おっしゃっていた。それが今回の行動になったのかなと思う」と述べ、「白井の議会は今まで10対9で予算化反対という結論だったが、(議長の行動で)実態としては10対10であることが非常に明確になった」と語った。